



森林施業 NPO 法人 森林の風 活動報告

伊勢神宮宮域林の見学

1 開催場所： 伊勢神宮 内宮

2 開催日時： 平成23年6月23日（木）晴れ 午前8時30分～12時

3 参加者： 蒲田、桜井、岡島、裏川、清水、南条、小坂、瀧口朱、大石、高崎、高崎、
高崎、林、市川、（13名）

4 内容

内宮の宇治橋前には神宮技師の山本さんが出迎えていただいて全員が神楽殿でお神楽奉奏、参拝を受ける。その後、内宮駐車場から20分くらい神路川（五十鈴川の支流）沿いに車で進み内宮林（一般は立ち入り禁止地区）の林道を上る。（標高120m位）

80年生のヒノキ林で大正12年神宮森林経営計画が策定された時の樹だそうです。全体で5500ha（三井物産・三戸山林1200ha）の山域に遷宮のための用材を伐り出す御杣山（みそまやま）と定められているそうです。木曽の天然ヒノキ林もその一つで、熊本、宮崎に1000haの御造営用材生産の記念林もあるそうです。

普通施業地は2900haで大部分がヒノキ人工造林地であり、大樹を期待できる木には二重ペンキで表示してありました。内宮参道の400年～600年の巨大樹をみた後でもあり少し期待外れの感があり。しかし20年毎の式年遷宮に使う用材14000本の計画的な育樹、苗畑、サカキの生産、萱の生産など多様にわたり歴史を守り、引き継ぐことには大変なご苦労がある様子がわかりました。

報告者： 市川正之